

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
地域医療再生拠点地区

平成28年 3月

静岡県掛川市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 |
|-----|--------------|-----|-----|------|----------|-------------|------------|---------------|------|----------------|------------------------------------|--|--|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | |
| 指標1 | 交通事故ヒヤリ・ハット数 | % | 50 | 45 | 62 | 確定 ● 見込み | × | あり なし ● | 37 | H 27年12月 | ○ | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 交通安全キャンペーンによる人・車への注意喚起や、居宅周辺における交通環境の把握などにより危険回避行動が体験的に行われ、ヒヤリハット回数が減少したものと推測される。 |
| 指標2 | 公園利用の満足度 | % | 0 | 67 | 72 | 確定 ● 見込み | ○ | あり なし | | H 年月 | | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 病院利用者のリハビリや心の療養に公園が利用されているほか、地元住民の利用も見られた。歩道に段差が多く池もあり、潤いを感じながら快適に歩くことができるところが満足度の向上に繋がっている。 |
| 指標3 | 生活環境の満足度 | % | 70 | 77 | 85 | 確定 ● 見込み | ○ | あり なし | | H 年月 | | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 地区内道路の整備が進み、歩行ネットワークが充実したこと、移動の利便性が向上したことに加え、近隣に救急体制の整った病院ができたことなどにより、生活環境に不満はないとする人が増えている。 |
| 指標4 | | | | | | 確定 見込み | | あり なし | | H 年月 | | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |
| 指標5 | | | | | | 確定 見込み | | あり なし | | H 年月 | | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

| 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 事後評価 | | | | フォローアップによる確定値 | 計測時期 | フォローアップ時点での達成度 | 確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等 | | 総合所見 |
|-----------|-----------------|-----|-----|------|----------|-------------|------------|---------------|------|----------------|------------------------------------|--|---|
| | | | | 評価値 | 見込み・確定の別 | 達成度 | 1年以内の達成見込み | | | | 理由 | 改善策の方向性 | |
| その他の数値指標1 | 公園利用意向 | % | - | / | 67 | 確定 ● 見込み | / | / | / | H 年月 | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 公園未利用者においては、本調査で公園の存在を知った方も多く、今後機会があったら利用したいとの意向が多くみられた。 |
| その他の数値指標2 | 歩行者移動の安心・安全度の向上 | % | - | / | 67 | 確定 ● 見込み | / | / | / | H 年月 | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 地区内道路の整備により歩車道分離が進み、歩行ネットワークが充実した。これにより地区内の歩行の利便性が向上した。 |
| その他の数値指標3 | 緊急時・災害時の不安の減少 | % | - | / | 51 | 確定 ● 見込み | / | / | / | H 年月 | / | <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる | 救急体制が整った病院が直近にできたことや、病院へのアクセス道路が整備されたことにより、緊急時、災害時の不安が減少した。 |

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

| 事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項) | | 実施した具体的な内容 | 実施した結果 | 今後の課題 その他特記事項 |
|--|-------------|-------------------------------------|--|--|
| ・成果を持続させるために 行う方策 | まちづくり活動の推進 | ・まちづくり委員会による土地利用の検討 | ・民間開発業者による土地利用を提案中 | ・総合計画に基づく協働によるまちづくりを官民で展開していく |
| | 公園の利用促進 | ・公園内の適切な管理により、利用者が快適に過ごすことのできる環境を維持 | ・病院利用者のリハビリ等に加え、保育園児の屋外活動時における公園利用など、利用者の増加に繋がった | ・ラジオ体操など多様な公園利用の方法についてのPR ・「緑の精神回廊」など、各種ウォーキングコースにおいて、立ち寄りスポットとしての利活用の推進。 |
| | 快適な道路空間の維持 | ・年2回の道路草刈りを実施 | ・不法投棄が減少し、快適な環境が保たれている | ・活動の継続や花の会への活動場所の提供等 |
| 改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 | ヒヤリハット機会の減少 | ・交通安全ルールの遵守、マナーの啓蒙キャンペーン実施 | ・ヒヤリハット機会が減少した | ・同様のソフト対策、要望箇所への交通安全対策の実施 |
| | 周辺道路の渋滞の解消 | ・県道磐田掛川線の4車線化の推進について県へ要望提出 | ・事業化の検討開始 | ・県道磐田掛川線の4車線化の推進 ・南北幹線道路整備の推進 |
| | | | | |

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

| 追加が考えられる今後のまちづくり方策 | 具体的内容 | 実施時期 | 実施にあたっての課題 その他特記事項 |
|--------------------|-------|------|--------------------|
| 特になし | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |